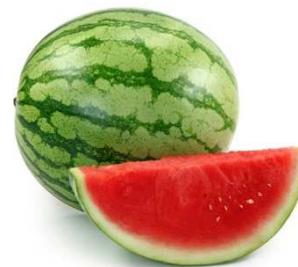


がん化学療法科 ニュースレター

ほほえみ 第68号



2016年も、7月ということで、はや半年が過ぎました。診療体制が変わってから、3か月が経過しました。特に通院されている方には、いろいろとご迷惑をお掛けしていることも多いかと思います。誠に、申し訳ありません。他の診療科とも連携して、よりスムーズな形になるようにしたいと思っております。

消費社会

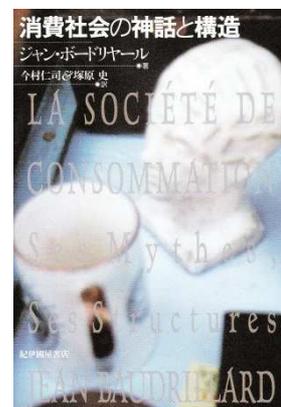
資本主義や自由主義、民主主義という言葉はありふれていています。議論することなく、金科玉条のように、これらでなければいけないような風潮がありますね。米国の大統領選挙、英国の欧州連合離脱のニュースが繰り返し報道されていますが、資本主義や自由主義という言葉で括れない、個別的な問題が各々の国、社会にあるということを忘れがちであるから、逆にニュースになるのだと思います。

実は、資本主義、自由主義、民主主義といったことは、むしろ本質的でなくなっています。個人のレベルでは、資本というのは縁遠い存在ですし、民主主義といっても、選挙にさえあまり関心がない。政治に対しては、あきらめに似た気持ち支配しています。それでは、何がこの社会の本質かという、恐らく消費でしょう。個々の人間は、何かを消費し代価を払う存在であるということです。消費社会です。

消費がどのくらい可能かには開きがあり、個人は購買力ではかられ、商品開発は購買を刺激する力×人数を目標に立てられます。すぐれた商品が売れないというのが、日本の企業のジレンマで、優勝劣敗の原則は成り立たなくなっています。生活保護を受けている方でさえ、搾取の対象になるというのが貧困ビジネスです。繰り返しになりますが、生活保護者でも消費するということで利用されているのです。すべての人が、民主主義社会の一員であるというより、購買力がある存在として当てにされている訳です。この社会では、原則は、売ればよいとなり、実際には商品やサービスの良し悪しではありません。

労働→所得→消費からすると、消費を伸ばそうとするには、労働と所得がなければ成り立ちませんが、今の政策は、国債を発行して、異次元の規制緩和をして、消費を伸ばそうとしていますね。このやり方が上手いのか、きちんと問い直しているようには見えず、政治もイメージ先行で、発信力は感じられません。消費社会の中でも、特に日本は終末期にあるのかもしれない。

さらに、日本は先進国では、非常に格差が大きな社会です。日本は一億総中流と言われていたのは過去の話で、OECD諸国の中では、圧倒的に格差社会です。消費社会が最も進んだ社会であり、格差社会でもある日本。この社会を良しとする限りは、変革は訪れないだろうと思われ、消費以外の構造が提案されなければ、やはり現実的には社会は変わらないだろうと思われ。少なくとも、格差社会は、もう少し解消されても良いように思うのですが。



『消費社会の神話と構造』 ジャン・ボードリヤール著

集学的治療雑感

がん診療では、手術、放射線療法、化学療法が、いわゆる三大治療と言われるもので、これらを組み合わせて治療することを、集学的治療と呼んでいます。この集学的治療に関しては、三つの治療法が有機的に組み合わされてこそ、その意味があるのですが、情報化社会だからなのでしょう、各々の要素がパーツとなっていて、A病院で手術、B病院で放射線化学療法、C病院で化学療法を行うといった、治療を行った施設が、別々であるということが、少なからず出てきています。

集学的治療でなければ、一種類で治療が完結するので、あまり問題はないのかもしれませんが、しかし、集学的治療となると、何が問題となるかという、治療法同士の受け渡しの部分ですね。例えば、放射線化学療法は終わったが、追加の化学療法が必要である・・・といった場合です。スムーズに次の治療に入るのが良いのですが、大分時間が経ってから、次の治療に入るといった場合、後から行う治療に困難が出てくる場合があります。なかなか、こういったことは、治療を受けられる側の方にはわかりにくいだろうと思いますね。もっと、問題提起されても良い課題だと思われれます。



頑張れ、テントウムシ

我が家では、ガーデニングの際に、農薬の使用は行っていません。なので、昆虫は生態系の通りになります。テントウムシを発見すると、テントウムシはアブラムシを駆除してくれるので、ついつい、頑張れと励ましたくなります。テントウムシの幼虫もすごくて、バラについたアブラムシが劇的に少なくなりました。



風知草の葉の上にテントウムシがいました。

MEMO

7月のがん化学療法科の予定

7月1日	診療応援(福田先生)
7月6日	診療応援(大堀先生)
7月8日	柴田教授外来
7月15日	診療応援(福田先生) 新渡戸稲造記念メディカル・カフェ(予定)
7月18日	海の日
7月20日	診療応援(大堀先生)
7月22日	診療応援(井上先生)
7月29日	診療応援(島津先生)

